

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた  
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 金沢市立富樫小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒 921-8175  
石川県金沢市山科3丁目6番60号

E-mail : togashi-e@kanazawa-city.ed.jp

Website : http://www.kanazawa-city.ed.jp/togashi-e

児童生徒数：男子 261名 女子 256名 合計 517名  
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ  
いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

## 1年生（生活科） 季節と遊ぼう

- ・ 1年生は地域の自然の中に飛び出して、自然のすばらしさと一緒に遊ぶ仲間のすばらしさを感じている。その活動の一環として、4月には校区を流れる伏見川へ6年生と出かけ、花見を兼ねて河川敷でたっぷり遊んだ。その中で、これから一年間お世話になる6年生への信頼の気持ちが生まれ、縦割り活動に安心して参加することができている。また、川の流れにも目を向けるようになってきた。
- ・ 9月には1年生みんなで、自分で遊びたい遊びを考え、計画を立て、自分で必要なものを準備して伏見川へ遊びに行った。トンボやバッタなどの昆虫採集、河原で平べったい石を拾って水切り、膝まで使って川歩き…。それらの活動の中で、友達とどの石がよくはねるか教え合ったり、転ばないように手をつないで歩いたり、水をかけないように気をつけ合ったりと、関わり合う姿が多く見られた。また、水温の変化から季節の移り変わりを感じることができた。次の季節との出会いも楽しみだ。

## 2年生（生活科） まちたんけんで大発見しよう

- ・ まちをたんけん大はっけんという大単元のなかで、富樫の校区のよさについて知る学習に取り組んだ。春は、まず、自分のお気に入りの場所を紹介し合った。次に、各自が選んだ校区内の公園に出かけ、遊んだ様子をワークシートに表し、その特徴を共有した。夏には、野菜の先生（地域の方）に教えて頂いた野菜の収穫や、大乘寺丘陵公園でさがした虫の飼育・観察などを通して、富樫の自然のよさを感じた。秋には、校区の施設やお店などへ、子ども達だけのグループで出かけた。探検当日までの計画、見学などの許可も子ども達が主体となるように支援した。地域の方と直接ふれあうことで、さらに、富樫のよさを実感したようだ。探検の内容をグループごとにまとめ、保護者にも発信できた事が良かった。
- ・ 金沢の遊びに親しむために、昔遊びのインストラクターから、旗源平について、由来や遊び方について教えて頂いた。後日、ろう学校の友達とも交流でき、さらに、楽しめたのが良かった。

## 3年生（総合的な学習の時間） 富樫校区のよさを発見しよう

- ・ 富樫校区に住むゲストティーチャーの方を招き、校区のよさを学んできた。4月から10月にかけて、竹について学習した。富樫校区は大変竹のよく育つ地域である。5月には遠足で竹の子掘りの体験をし、新聞にまとめた。また、9月には竹でびゅんびゅんごまを作って遊んだ。
- ・ 11月からは金沢の文化である和菓子について学習した。それぞれが金沢の和菓子を調べた後、自分たちで作って食べた。2月には和菓子の学習を生かし、お茶会を開いた。
- ・ 地域にたくさんのゲストティーチャーの方がいることを知り、校区のよさを見つけることができた。竹の子掘りでは、考えていた以上に難しく体力のいるものだということが分かり、名人の技を感じていた。また、お茶会では「もてなし」の心をもって、座席のお隣さんのために一生懸命お茶を点てることができ、よいかかわりができた。

## 4年生（総合的な学習の時間） 富樫校区のよさを交流し合おう

- ・ 伏見川探検に出かけ、一人ひとりが追求したい課題を見つけた。課題から調べたいテーマを決め、テーマごとにグループを作り、課題解決に取り組んだ。調べたことをグループごとに発表し、聞き合った。冬には、サケの飼育を行い、伏見川に放流した。身近な伏見川に意識を向け、郷土愛を育んだとともに、サケと人間の共通点を見つけ、生命の連続性に気づくことができた。
- ・ 社会科の授業の発展として、金沢の伝統工芸と偉人を学んだ。校区在住の友禅作家、人間国宝・二塚長生さんの思いから、伝統工芸を守り続けることの大切さについて考えた。金沢の偉人については、科学・文学・学問・教育・芸術・産業・地域の7分野ごとに、グループで調べた。「もっと知りたい 金沢ふるさと偉人館」(ふるさと偉人館)などの資料やインターネットを活用して、意欲的に探求し、壁新聞にまとめて全校に発信することができた。

#### 5年生(総合的な学習の時間) 金沢や日本を再発見しよう～食を通して～

- ・ バケツ稲を育てる体験を通して、自分たちの主食である米について興味を持った。また、調べ学習では、米づくりについてだけでなく、稲作の歴史や米料理など多岐にわたったテーマについて意欲的に調べ、まとめることができた。まとめた内容をわかりやすく伝える工夫をし、4年生に発表した。
- ・ 校区で育てられている「たけのこ」をきっかけとして、様々な加賀野菜について調べ学習を進めた。さらに、それぞれの加賀野菜を使った加賀料理についても学びを広げていった。  
以上のことから、地産地消の意味を理解し、食の安全性について考えることができた。また、金沢の食文化についても、各自自分の考えを持つことができた。

#### 6年生(総合的な学習の時間) 自分の生き方を考えよう～金沢の歴史を通して～

- ・ 郷土史家の方に富樫地区や金沢の歴史の話を聞いて、地域の成り立ちに関心を待った。金沢の歴史的な場所や前田家について自分で課題を設定して調べ、リーフレットにまとめて読み合った。
- ・ 調べた場所を参考に、金沢歴史探訪として実際に巡る計画や、グループでの担当を話し合った。金沢の伝統芸能である能を紹介する能楽美術館は必ず訪ねるポイントとして、能に関する体験なども行った。それぞれの調べたことをプレゼンソフトでまとめ、ろう学校とともに発表会を行った。感想も言い合った。  
以上の活動から、金沢市が歴史と伝統を大切にしている町であることを理解するとともに、前田百万石の名残が深く残る金沢の街を誇りに思うことができた。環境学習もしているが、文化的意味として地域を大切にしなければならないと感じている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）